

平成 3 0 年
第 2 回定例会（ 1 2 月議会）
建設委員会
提 出 資 料

【所管事項審査関係資料】

出 納 局

目 次

資料 1	あきた公共施設等総合管理計画に係るインフラ施設の 個別施設計画（案）について	1
		（財産活用課）

あきた公共施設等総合管理計画に係るインフラ施設の個別施設計画（案）について

平成30年12月3日
財産活用課

1 経 緯

- 平成28年3月、「あきた公共施設等総合管理計画」を策定。
- 平成29年3月、公共施設のうち「施設の存廃による県民生活への影響が少ない施設」の個別施設計画を策定。
- 平成29年8月、公共施設のうち「施設の存廃による県民生活への影響が認められる施設」とインフラ施設のうち秋田空港、大館能代空港、公園、信号機、大型道路標識、電気事業、工業用水道事業の個別施設計画を策定。

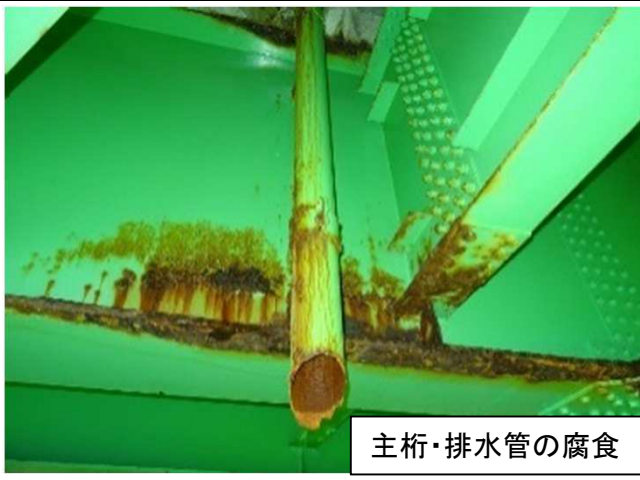
2 平成30年度策定予定の概要

所管 部局	施設 類型	個別施設 計画	対象施設概要	計画 期間	対策の主な内容	対策 概算費用 (百万円)
建設部	道路	橋梁	コンクリート橋 鋼橋 2,316 橋	H30 ～ H39	コンクリート橋・鋼橋の修繕 764 橋 ※ 緊急輸送道路の未耐震化橋梁に おいて耐震対策を併せて実施	30,000
		シェッド・ シェルター	スノーシェッド・ スノーシェルター・ロックシェッ ド・ロックガード 95 基	H31 ～ H40	スノーシェッド・スノーシェルター・ ロックシェッド・ロックガードの修繕 71 基	5,100
		横断歩道橋	11 橋	H31 ～ H40	横断歩道橋修繕 8 橋 横断歩道橋撤去 3 橋	300
		門型標識等	22 基	H31 ～ H40	門型標識等の修繕 14 基	8

3 今後の策定予定

所管部局	施設類型	個別施設計画	予定 年度	所管部局	施設類型	個別施設計画	予定 年度
建設部	道路	トンネル	H31	建設部	港湾	港湾施設等	H32
		大型カルバート		農林水産部	農業	農地防災ダム	
	河川	樋門・樋管				地すべり防止施設	
	海岸	護岸等			漁業	漁港	
	砂防	砂防堰堤等				海岸保全施設	
	河川	ダム	H32	治山	治山ダム等		
	下水道	処理場等					

個別施設計画（案）の概要【橋梁】

①施設の概要	施設名称	コンクリート橋		鋼橋	
					
	所在地	県内各所			
	施設数	2, 316橋			
	橋長	2. 0m～602. 0m			
	建設年	大正14年～平成28年(2年～94年経過)			
②計画期間		平成30年度(2018年度)～平成39年度(2027年度)【10年間】			
③対策の優先順位の考え方		○施設の健全性・緊急輸送道路など橋梁の重要度などを考慮し順次、修繕を行う。			
④個別施設の状態等	コンクリート橋		鋼橋		
④個別施設の状態等	○床版下面にコンクリートの剥離・鉄筋の露出が生じており、補修が必要である。 ○支承に腐食が生じており、補修が必要である。		○主桁、排水管に腐食が生じており、補修が必要である。 ○下部工にコンクリートの剥離・鉄筋の露出が生じており、補修が必要である。		
	 コンクリートの剥離・鉄筋の露出	 支承の腐食	 主桁・排水管の腐食	 下部工のコンクリート剥離・鉄筋の露出	
⑤対策内容、実施時期		○橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕を実施する。 ○なお、緊急輸送道路の未耐震化橋梁において耐震補強を併せて実施する。			
⑥対策概算費用 (H30～H39)		約300億円			

個別施設計画（案）の概要【シェッド・シェルター】【横断歩道橋】【門型標識等】

①施設の概要	施設名称	シェッド・シェルター	横断歩道橋	門型標識等	
					
	所在地	県内各所	鹿角・山本・秋田・仙北地域振興局管内	北秋田・山本・秋田・仙北・平鹿・雄勝地域振興局管内	
	施設数	95基	11橋	22基	
	主要施設	スノーシェッド・スノーシェルター ロックシェッド・ロックガード	(橋長) 14.1m～77.0m	道路情報提供装置・道路標識	
	概要	落石や雪崩の被害を防止するために道路を覆う施設	道路の歩道部と車道部を立体的に分離し、 横断者の安全を守るための施設	道路利用者へ道路情報等を提供する施設	
	建設年	昭和46年～平成21年(9年～47年経過)	昭和42年～平成15年(15年～51年経過)	平成元年～平成22年(8年～29年経過)	
②計画期間		平成31年度(2019年度)～平成40年度(2028年度)【10年間】			
③対策の優先順位の考え方		○施設の健全性・緊急輸送道路など路線の重要度・経過年数などを考慮し順次、修繕を行う。			
④個別施設の状態等	○屋根材からの雨水等の漏水により、主梁や屋根材等の鋼部材に腐食が生じており、補修が必要である。 ○鋼製柱基部、ガセットプレートには山側からの漏水や自動車のはね水、積雪の影響により、腐食や変形・欠損が生じており、補修が必要である。		○横桁や階段部等の鋼部材に腐食が発生しており、補修が必要である。 ○下部工や床板等のコンクリート部材にひびわれや剥離が生じており、補修が必要である。	○支柱や横梁等に腐食や塗装剥がれが発生しており、補修が必要である。	
	 梁や屋根材の腐食	 鋼製柱基部の腐食	 階段部の腐食	 下部工のひびわれ	 塗装の剥がれ
⑤対策内容、実施時期		○長寿命化修繕計画に基づき、修繕を実施する。			
⑥対策概算費用 (H31～H40)		約5 1 億円	約3 億円	約8 百万円	